

全国漢文教育学会

第26回(通算56回)大会

平成22年5月28日(金)・29日(土)

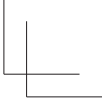
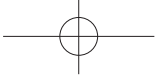
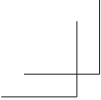
【第1日】 研究授業
研究協議
於 山形県立山形東高等学校
史跡研修会
於 立石寺
懇親会
於 山形グランドホテル

【第2日】 研究発表
記念講演会
特別講演会
総会
於 山形大学

※5月30日(日) オプションツアー
旧庄内藩藩校「致道館」にて
石川会長の講話

〈主催〉 全国漢文教育学会

〈後援〉 文部科学省
山形県教育委員会
山形市教育委員会
山形県高等学校校長会
漢字文化振興会
全国高等学校国語教育研究連合会
山形新聞社



会 員 各 位
大 学 学 長 殿
小・中・高等学校長殿
国語科主任殿

来る5月28・29日の2日間、本年度の大会及び総会を山形大学において開催致します。

まず、第一日は、午前中、研究授業を、午後に研究協議を山形県立山形東高校にて行います。また、引き続いての史跡研修会は、立石寺を参観いたします。その後、山形グランドホテルにおいて恒例の懇親会を開催します。

第二日は、午前中、研究発表を山形大学において、小・中・高校の部と大学の部とに分かれて行います。午後は、大久保隆郎先生（福島大学名誉教授）の記念講演と石川忠久本学会会長の特別講演を行います。また、引き続き今年度の総会を行います。

なお、30日は、オプションツアーを予定しており、旧庄内藩藩校「致道館」にて史跡研修会を行います。現地では、石川忠久会長の講話があります。

以上のような次第ですので、何卒奮ってご参集下さいますようお願い申し上げます。

平成22年4月10日

全国漢文教育学会会長 石川 忠 久
第26回大会準備会代表 三 上 英 司



「大会要項」

1. 期日

平成 22 年 5 月 28 日(金)・29 日(土) ※30 日オプションツアー

第 1 日 (5 月 28 日)	第 2 日 (5 月 29 日)	※ 5 月 30 日
研究授業	研究発表	オプションツアー
研究協議	記念講演会	藩校「致道館」研修
史跡研修会	特別講演会	
懇親会	総会	

2. 会場

○研究授業	}	山形県立山形東高等学校
○研究協議		
○史跡研修会	—	立石寺
○懇親会	—	山形グランドホテル
○研究発表	}	山形大学小白川キャンパス
○記念講演会		
○特別講演会		
○総会		



3. 主催

全国漢文教育学会

4. 後援

文部科学省・山形県教育委員会・山形市教育委員会
山形県高等学校校長会・漢字文化振興会
全国高等学校国語教育研究連合会・山形新聞社

5. 申込み

郵便局にて参加費等を事前にお振り込み下さい。
振込口座名：全国漢文教育学会大会参加費
口座番号：00130 - 8 - 84978
※諸費用は 8 ページをご参照下さい。

6. 問合せ

全国漢文教育学会
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-4-25 湯島聖堂内
TEL 03(3251)4606 FAX 03(3251)4853

7. 大会準備会

山形大学地域教育文化学部 三上英司研究室
TEL 023(628)4441

7. 日程

【第1日】5月28日（金）

- ◇研究授業（11：15～12：20）65分授業
会 場：山形県立山形東高等学校
受 付 10：30～11：10
研究授業 11：15～12：20
授 業 者：荒川 和幸教諭
生 徒：第2学年
内 容：「十八史略」
使用教科書：第一学習社 改訂版『古典』漢文編
- ◇昼食（12：20～12：50）※事前にお弁当をご予約下さい。
- ◇研究協議（13：00～14：00）場所：研究授業会場と同じ
助言指導：謡口 明（文教大学教授）
司 会：山中 恒己（明海大学教授）
- ◇史跡研修会（14：20～17：00）
会 場：立石寺
内 容：松尾芭蕉の足跡をたずねる
- ◇懇親会（18：00～20：00）
会 場：山形グランドホテル

【第2日】5月29日（土）

- ◇会 場：山形大学小白川キャンパス・地域教育文化学部1号館
受 付：9：00～10：00
- ◇開会式（9：45～10：00）……………110 番講義室
司会進行：渡辺 雅之（筑波大学附属高等学校教諭）
開会の辞：大地 武雄（二松學舎大学教授）
挨拶：大会準備会代表 三上 英司
（山形大学教授）
：全国漢文教育学会会長 石川 忠久
（元二松學舎大学学長）
- ◇研究発表（10：00～12：00）
〈小・中・高の部〉……………111 番講義室
 - (1)「国語総合（漢文）における授業の工夫」
渡辺 恭子（都立戸山高等学校教諭）
 - (2)「確かな訓読力をつけるために」
菊地 隆雄（都立小石川中等教育学校教諭）
 - (3)「現行教科書から見た現代中国の古典教育について」
泊 功（函館工業高等専門学校准教授）
司 会：塚田 勝郎（筑波大学附属高等学校教諭）

※ 各会場については、5～7ページの案内図をご参照下さい。

〈大学の部〉…………… 112 番講義室

- (1)「漢文返読規則の簡素化と学校教育現場における指導法」
西口 智也（愛知文教大学准教授）
(2)「李端の楽府詩について」
大橋 賢一（北海道教育大学准教授）
(3)「陶淵明と謝靈運の類似性について」
佐藤 正光（東京学芸大学教授）

司 会：田口 暢穂（鶴見大学教授）

◇記念写真撮影（12：10～12：20）

場 所：正面入口

◇昼食（一般）（12：10～13：10）

場 所：学生学習室（※111番講義室隣）

◇全国理事・評議員会（12：20～13：10）

場 所：113番講義室

◇記念講演会（13：20～14：50）90分

場 所：111番講義室

題 目：「江戸漢学と『論衡』」

講 師：大久保隆郎（福島大学名誉教授）

司 会：三上 英司（山形大学教授）

◇特別講演会（15：00～16：30）90分

場 所：111番講義室

題 目：「『漢詩の味わい』」

～上杉謙信と直江兼統の漢詩に触れながら～

講 師：石川 忠久（本学会会長）

司 会：菊地 隆雄（都立小石川中等教育学校教諭）

◇総会・閉会式（16：45～17：00）

会 場：110番講義室

閉会の辞：緑川 佑介（元二松學舎大学教授）

【第3日】5月30日（日）

◇オプションツアー

旧庄内藩藩校「致道館」研修

ホテル出発 9：30

「致道館」着 11：00

「致道館」見学 11：00～12：30

昼 食 12：30～13：30

藤沢周平記念館 13：30～14：30

鶴岡出発 14：30

JR山形駅着・解散 16：00

※東京行き新幹線（16：18 発つばさ 124号, 16：49 発つばさ 190号）

※ 各会場については、5～7ページの案内図をご参照下さい。

【会場ご案内】

●山形東高等学校 アクセスマップ

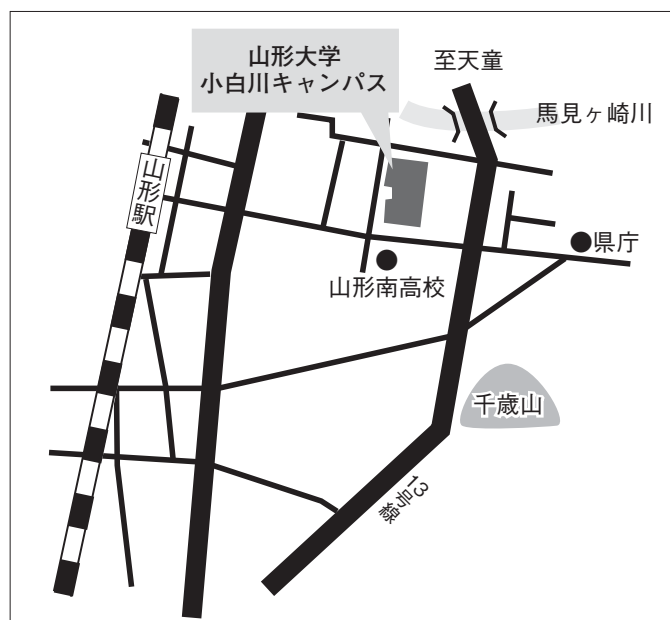
〒 990-8525 山形県山形市緑町 1-5-87
TEL 023-631-3501
FAX 023-631-3517
<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp/>



- ・JR 山形駅よりタクシーで約 10 分
 - ・JR 山形駅より山交バス「遊学館」より徒歩約 3 分
- ※バスの本数が少ないため、タクシーでのご来場をお勧めします。

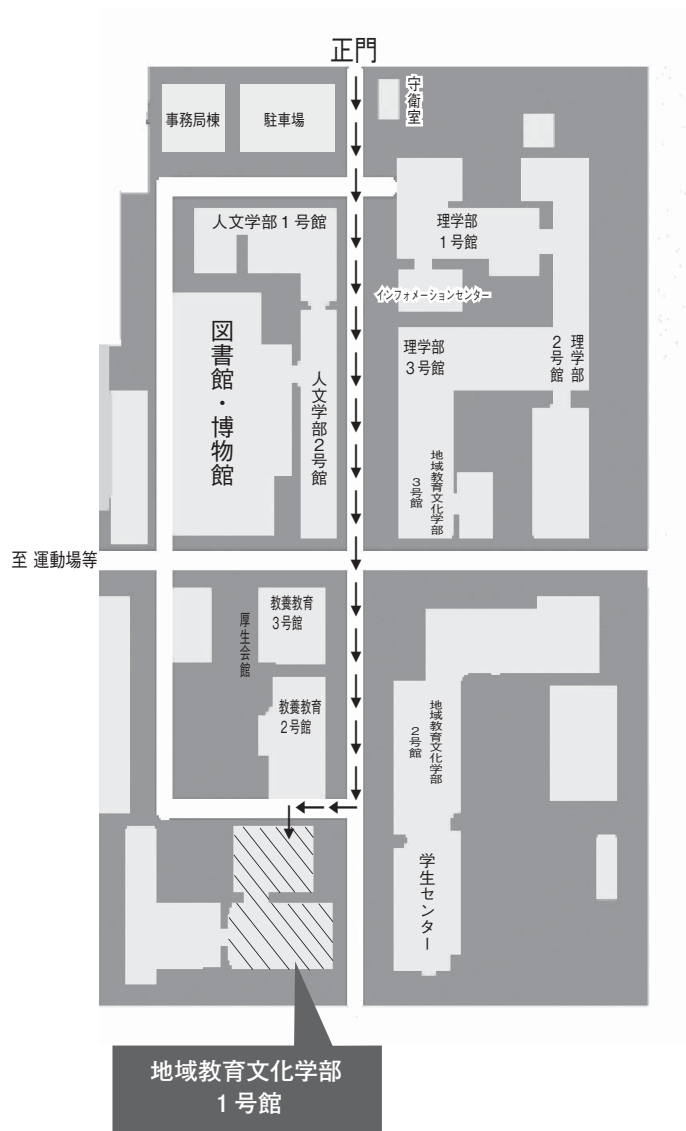
●山形大学 小白川キャンパス

〒 990-8560 山形市小白川町 1-4-12
TEL 023-628-4304
FAX 023-628-4313
(地域教育文化学部総務係)



- ・ JR 山形駅からタクシーで約7分
- ・ JR 山形駅から「東原経由千歳公園」行きバスで(約10分)
「山大前」下車、徒歩約3分
- ・ JR 山形駅から「山形県庁」行きバスで(約7分)
「南高前」下車、徒歩約5分
- ・ JR 仙台駅から山形行き高速バスで(約55分)
「南高前」下車、徒歩約5分

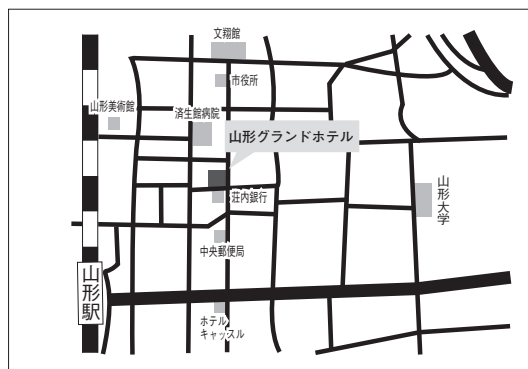
●山形大学 小白川キャンパス内
地域教育文化学部 1号館への道順



【懇親会】

会場：山形グランドホテル ※ JR 山形駅から車 5 分・徒歩 10 分
〒 990-0043 山形県山形市本町 1-7-42
TEL 023-641-2611

会費：6,000 円



【参加申込みについて】

◎会場の都合もございますので、締切日厳守の上、同封の振込票にてお申し込み下さい。

●振込口座名：全国漢文教育学会大会参加費
口座番号：00130 - 8 - 84978

●諸費用

5月28日(金)	研究授業	無料
	昼食代	1,000円
	史跡研修会	1,500円(交通費)
	懇親会費	6,000円
5月29日(土)	大会参加費	1,000円
	昼食代	1,000円
	記念写真代	500円
5月30日(日)	旧庄内藩藩校「致道館」研修会	2,000円(交通費)

●申込締切 **5月20日(木) 必着** ※厳守して下さい。

〈ご注意〉

- ・会場には駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。
- ・当日のお弁当のご注文は承れません。必要の方は予めご注文下さい。



【学会入会のお誘い】

●本学会の沿革


本学会は、その前身である「大学漢文教育研究会」を改組し、「全国漢文教育学会」として昭和59年10月に発足しました。その目的は、漢字漢文教育および漢字文化に関する諸問題を研究し、我が国の漢字漢文教育ならびに漢字文化に関する研究の充実発展を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることです。これらの目的を達成するために、次のような事業を実施しています。

- 1、大会及び総会の開催（年1回）
- 2、講演会・研究発表会の開催（随時）
- 3、会誌『新しい漢字漢文教育』の発行（年2回）
- 4、その他、本学会の目的を達成するために必要な諸事業

現在、小・中・高・大学の教員及び本学会の主旨に賛同する者800名余り（平成22年3月末日現在）で組織されている全国的組織です。



★会員特典（主なもの）

- ① 会誌への投稿、大会等における発表
 - ② 会誌『新しい漢字漢文教育』年2回の配布
 - ③ 講演会・研究発表会のご案内
 - ④ 漢文教育研修会受講料の割引
- 

【会 員】 会員の種類と会費は次の通りです。

- 通常会員（年額 5千円）
- 学生会員（年額 3千円）
- 賛助会員（年額 8千円）
- 団体会員（年額 5千円）

※ 本学会入会ご希望の方は、裏面の入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局に送付して下さい。

全国漢文教育学会ホームページアドレス
<http://www.zenkankyo.gr.jp/>



【本学会編集書籍販売のおしらせ】

●学会誌『新しい漢字漢文教育』 研文社 (03-3292-7837)

残部僅少の創刊号を含む本学会の会誌。最新49号まで発刊。バックナンバー（第25号までの書名は『新しい漢文教育』）を随時販売しております。購入ご希望の方は本学会ホームページ <http://www.zenkankyo.gr.jp/> または学会事務局 03-3251-4606 までお問い合わせ下さい。

●『朗唱 漢詩漢文』第一集～第三集

東洋館出版社 (03-3253-8821)

～よみがえる日本語の響き 心に残る名詩名句七七～ 四六判 各1,365円
名詩名句77首に書き下し文と解説・背景説明を加え、切り絵・写真を添えて紹介しています。総ルビなので簡単に声に出して読めます。自分の中の日本語を豊かにし、日本語の文体やリズムを身につけることができます。

●『はじめてであう論語』全3巻 (①家族 ②友だち ③学問)

汐文社 (03-3815-8421) A五判 各1,500円+税

小中学校での古典学習を、より充実させるための教材として論語は今、注目されています。「徳育」の観点からも、子どもたちにとってふさわしい教材になるでしょう。本シリーズは、子どもたちに伝えたいメッセージをこめた大切な章句を、原文・書き下し文・やさしい口語訳・わかりやすい具体例と共に紹介します。

●『声に出そうはじめての漢詩』全3巻

(①自然のうた ②旅のうた ③生きかたのうた)

汐文社 (03-3815-8421) AB判 各2,000円+税

小学校高学年から読める漢詩の入門書です。「漢詩」とは何か、また、その歴史を簡単に説明し、日本人に古くから親しまれてきた30首のうたを紹介しています。大きな文字の書き下し文で、声に出して読みたくなり、言葉の美しさが楽しめます。

